

## 平成22年度小野市（普通会計）

### バランスシート（小野市の資産と負債の状況）

#### 平成22年度末の市民1人あたり

資 産	158万7千円（対前年度比 1万円増）
負 債	34万5千円（対前年度比 5千円減）
純 資 産	124万2千円（対前年度比 1万5千円増）

参考	兵庫県民1人あたり
資 産	136万円
負 債	93万円
純 資 産	43万円

バランスシートは民間企業の財務諸表の1つで、市が所有する資産や負債の状況を示すため作成し、その結果がとりまとめられました。

平成22年度末のバランスシートは、総務省方式改訂モデルで作成した結果、取得、建設した土地、建物などの資産合計は791億7,437万円となりました。学校等の施設整備や基金の積立等により4億6,634万円増えています。一方、負債合計は172億1,051万円となり、地方債の減、退職手当引当金の減などにより、前年度から2億5,259万円減りました。資産から負債を差し引いた純資産は619億6,386万円となり、前年度から7億1,893万円増えました。

資産の内訳では、土地や建物、道路などの整備費を積み上げた有形固定資産が680億3,962万円、売却可能資産が13億319万円で、公共資産合計で全体の87.6%を占めています。

また、有形固定資産の中では、道路や公園などの生活インフラ・国土保全費が377億7,179万円、小・中学校の用地や校舎などの教育関係費が197億2,711万円とその大半を占めています。

負債は、地方債や退職手当引当金等を合わせた固定負債が152億5,842万円、流動負債として地方債の23年度償還予定額が16億258万円となっています。

これを市民1人あたりのバランスシートでみると、市民1人あたりの資産は158万7千円、負債は34万5千円となり、純資産は124万2千円となりました。

平成23年8月25日

小野市総務部財政課